

なっ

9月号

vol. 199

「夏の風物詩」
西成区北西部まちづくり推進
納涼盆踊り大会

特集
芸術



vol.3

人が人らしく生きるために

芸術のトビラ

vol.3 人が人らしく 生きるために

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会で、社会の関心が高まった障害者の文化芸術。誰もが文化芸術に親しみ、楽しめる「トビラ」が開き始めています。20年以上にわたって障害者の文化芸術活動の普及、推進に取り組んできた国際障害者交流センター（以下、ビッグ・アイ）。その取り組みを3号にわたり紹介します。

障害者の文化芸術活動の流れ

障害のある人の文化芸術を取り巻く環境は、ビッグ・アイが開館した2001年から大きく変わったと感ずる。開館当

初は、福祉サービス事業所や支援活動団体によって障害のある人の美術活動が行われていたものの、舞台芸術活動や鑑賞への支援はほとんどなかったと言える。障害のある人の文化芸術活動は「福祉」分野における活動であり、劇場や美術館などといった「芸術」分野での取り組み

芸術の両分野をつなげていくことが必要だと思った。

まずは、ビッグ・アイが企画する事業に協力いただく両分野の方々に丁寧に説明し、両分野が出会い、協働するダンスのワークショップを実施することにした。このワークショップでは、手話通訳者と講師のダンサーとが協力して取り組むようにするなど、福祉と芸術が協働する小さな一歩からのスタートだった。

スタートから22年が経った。振り返ってみると、大きく流れが変わったのは、次の二つの法律の制定だった。

2013年公布の「障害者差別解消法（障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律）」と2018年公布の「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」によって国や地方公共団体が動き



劇場体験プログラム アクロス福岡 2023



劇場体験プログラム アクロス福岡 2023（スタッフ）

出した。さらに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催の後押しもあり、文化芸術分野においても全国的な取り組みが始まった。特に、全国の公立文化施設や劇場などでのさまざまな取り組み（鑑賞における字幕や音声ガイドなどの情報保障のほか、知的や発達障害のある観客にむけた

は十分ではなかった時代だった。そのような中で、ビッグ・アイは、基本理念にある「文化芸術活動や国際交流を通して障害者の社会参加の促進」のもと、表現活動や鑑賞支援への取り組みをスタートさせた。取り組みを進めていく上で、協力をお願いする福祉分野の人たちから

は、「私たちは文化芸術ではなく、日常の生活支援です」と言われ、芸術分野の人たちからは、「福祉のことは、福祉の専門家に」と言われることが多く、これはまず、福祉と

プログラムなど、障害の特性に応じた鑑賞サポートが始まると、ビッグ・アイへの相談や事業への連携、協力の依頼が一気に増えた。先駆的に取り組んでいたビッグ・アイは、これまでに培ってきたノウハウを公立文化施設や劇場に提供したり、鑑賞支援人材を全国で育成したりと貢献している。国や地方自治体の制度、社会の動きが大きな後押しとなって、誰もが文化芸術にアクセスできる環境づくりの機運が高まっている。

文化芸術の役割

なぜ、障害のある人の文化芸術活動への支援が国の文化政策として芸術、福祉、教育など多様な分野で展開されているのか。障害者を含むあらゆる人に対して文化芸術はどのような役割を担っているのか。文化芸術基本法の前文には「文化芸術を創造し、享受し、文化的な環境の中で生きる喜びを見出すこと



大阪府障害者舞台芸術オープンカレッジ②

映中)に大きな声がでたり、多動になることで、他の鑑賞者に迷惑をかけたたり、スタッフから注意を受けたりしないかと考へるからだ。

受け入れる劇場側も、鑑賞への配慮や対応が分らずに困っているという現状がある。

は、人々の変わらない願いである。また、文化芸術は、人々の創造性をはぐくみ、その表現力を高めるとともに、人々の心のつながりや相互に理解し尊重し合う土壌を提供し、多様性を受け入れることができる心豊かな社会を形成する」とある。人が人らしく生きるためには、衣食住だけではない。文化芸術に触れることで、喜び、楽しさ、親しみなどによって心が動かされ、心身ともに癒される。また、文化芸術を他者と共有することによって、共感や多様なコミュニティを通じてつながりを実感できる。多様な人が共に生きる社会を形成するという社会的役割を文化芸術は、担っているのだ。人は文化芸術によって心の潤いと成長、社会とのつながりの恵沢を享受している。

劇場体験プログラム

仕事柄、障害のある人自身や保護者とお話をする機会もあり、文化芸術活動(鑑賞)について、たずねることがある。「私

そこで、ビッグ・アイが積極的に取り組んでいるのが、「知的・発達障害児者にむけての劇場体験プログラム」である。感覚過敏や意思疎通(コミュニケーション)など障害特性に応じて配慮したコンサートや映画上映会を全国で行っている。感覚過敏があることを考えて音の大きさを小さくしたり、照明を調整したり、会場内のサインをイラスト付きにしたりするなど様々な工夫を凝らして、彼らが鑑賞しやすい環境や劇場とはどんなものかを鑑賞体験を通じて学べる場としている。また、劇場側のスタッフには、事前の座学研修のほか、お客さまを迎えた実践研修の場として、公演(上演)日にはどのような準備や工夫、配慮が必要なのかを体験してもらっている。今年は、全国6か所で開催している。

ビッグ・アイのミッション

この10年で障害のある人が文化芸術

たちにとって『芸術』は、「ハードルが高い」とか「参加すると迷惑をかける」という声を聞くことも少なくない。特に知的障害や発達障害のある人の鑑賞においては、保護者や支援者が劇場で鑑賞することをあきらめていることも多い。上演中(上



大阪府障害者舞台芸術オープンカレッジ①

に参加できる機会が促進され、ビッグ・アイもこれらの文化芸術活動や参加を普及推進してきた。しかし私たちはその先を目指している。すなわち、文化芸術を通じて障害者の社会参加を促し、自己肯定感を高め、多様性が受容される社会の実現である。この社会的な使命を果たすため、様々な分野の機関と連携、協力し事業に取り組んでいるが、未だに劇場や文化芸術へのハードルが高いという障害のある人や家族の声を聞いたりとすると、ビッグ・アイの活動も道半ばであると感じている。

一人一人が豊かさや幸せを感じて生きていける場所。それを文化芸術で実現し、社会のモデルとして全国に発信し、普及していくことが私たちの使命である。そんな矜持をもって今後も取り組んでいく。

文責：鈴木京子
(国際障害者交流センター
ビッグ・アイ)



注文したのは、キムチ半チャンセツトとからあげぎょうぎ。ラーメンはこく塩らめんに全部入りをチョイス。もちろんビールも忘れてはいけない。冷たいビールで喉を潤し、いざ、いただきます！

まずはラーメンのスープを一口。こく塩らめんは背脂系の塩ラーメンと珍しい一品だが、このスープが筆者は大好きで、最終的には飲み干すほどの美味しさ。麺はちぢれ麺でツルツルと口の中に吸い込まれていく。

そして前回訪れた際に、これは皆さんにお勧めしたいと思ったのがチャー



ハンである。基本、筆者はラーメン屋に行くとき必ずご飯ものを一品食すが、このチャーハンに本当に美味しくて、あつという間に完食してしまう。黒チャーハンで見た目も食欲をそそられ、キムチとチャーハン自身の濃いめの味付けでビールとの相性抜群、アテにもなってしまう。言うまでもないが、ラーメンのスープとの相性も然り。ラーメンとチャーハンの組み合わせを考えた人にはノーベル賞を贈りたい。

今日の筆者はまだまだ止まらない。一品料理の唐揚げとぎょうぎもいただく。お店の方には全部食べられるか

らめん 一悶屋
住 所：西成区旭1丁目1の5
営業時間：昼11時30分～15時、夜18時～21時
(ラストオーダー20時45分)
定休日：日曜日
電話番号：06-6647-3368

文責：笹川勝正・山村裕太

だ。筆者は一度食べに来ており、美味しいお店に出会えたので、ぜひ皆様にもご紹介したいと思い、今回の取材に至ることになった。

さて唐突であるが、お店の紹介の前にクイズ！日本で最初にラーメンを食べたと言われる人は誰でしょうか？答えはこの文の最後の方でご紹介しよう。

本題に戻り、一悶屋さんについて。店の大きな提灯に「塩」と書かれているとおり、塩ラーメンが売りのお店であり、店内にも「塩」推しのこだわりが随所に見られる。18時の開店直後にお伺いしたが、すでに一組お客さんがおり、筆者が食べている間にも、ご夫婦から、サラリーマン、若者と幅広い客層が次々と来ていた。

配をされてしまったが、おいしく完食。ごちそうさま。

塩ラーメン以外にも醤油・みそらめん、つけ麺に坦々麺、今の時期は冷麺等、バリエーションも豊富である。筆者は確実に常連候補なので色々挑戦していくつもりである。もちろん毎回チャーハンとともに。

さて、ここでクイズの答え。ラーメンを日本ではじめて食べたのは、江戸時代の水戸藩2代藩主、水戸光圀。あの「水戸黄門」と言われている(諸説あり)。もし黄門様がラーメンの日本先駆者なのであれば、ラーメン好きとしては印籠を出されなくてもひれ伏さないとはいえない、などと考えながら、一悶屋さんに出会えたことを嬉しく思い帰路につく。



【谷口円】「鹿児島 まいにち」展を鑑賞。かわいい器がたくさん。「かわいい」は気軽に幅の広い言葉だけど、本当にかわいくて良いものの背景には知識や技術の積み重ねがあるよなぁと思うなど。



【田岡秀朋】この夏、ギリシャでは観光施設の営業時間を制限。高校野球ではタイブレークを10回から導入。地球温暖化も沸騰化と呼ばれるようになった。「熱さ」対策と呼ばれる日も、遠くなさそう。



【笹川勝正】地域のお祭りで射的屋さんをやりました。何と特賞の景品を1人目が当てるというまさかの事態に内心焦りつつ、子ども達の楽しそうな笑顔を見て、来年もどんなお店をしようか今から楽しみです。



【沖田一志】最近、仕事やプライベートで何度か京都に向かう機会が重なった。新幹線の京都駅を利用することはあっても目的地が京都って記憶にない。もしかして20年以上行ってなかったかも。

にしなりもん

西成にもまだまだ発掘されていない文化資源・社会資源は存在するはず。これら西成産のモノやコトを「にしなりもん」と名づけ、その由来やエピソードを辿っていきます。



飲み干す一杯
塩にこだわる一品
「らめん 一悶屋」

酷暑の夏、どうしても嗜好が冷たいもの、あっさりと思われられるものに偏りがちだが、そのような中、汗をかいでも食べたいものと言え、筆者は「ラーメン」になる。というわけで今回の取材先は「らめん 一悶屋」さん。

花園町駅付近、国道26号線沿いにあり、多種多様の飲食店が並ぶ中で2010年から営業されている人気店



だ。筆者は一度食べに来ており、美味しいお店に出会えたので、ぜひ皆様にもご紹介したいと思い、今回の取材に至ることになった。

さて唐突であるが、お店の紹介の前にクイズ！日本で最初にラーメンを食べたと言われる人は誰でしょうか？答えはこの文の最後の方でご紹介しよう。

本題に戻り、一悶屋さんについて。店の大きな提灯に「塩」と書かれているとおり、塩ラーメンが売りのお店であり、店内にも「塩」推しのこだわりが随所に見られる。18時の開店直後にお伺いしたが、すでに一組お客さんがおり、筆者が食べている間にも、ご夫婦から、サラリーマン、若者と幅広い客層が次々と来ていた。

些事争論

些事でも何でも気になったらあれこれ考えてみよう。
いいこと思いつくかもしれないし。気づいたら西成に
たどり着いていた、或るオタクのてっちり系コラム。

『二極化するインナーシティ①』

(例)NICEという社名の意味は「西成のインナーシティ問題を解決する企業」と聞く。今回はこの「インナーシティ問題」について深堀りしてみたい。

人文・社会科学系の都市研究には都市をinとoutに区分する発想がある。inには、前近代の歴史的都市、城壁都市、環濠都市域、日本では城下町域があり、インナーシティ(ICCと略す)と呼ぶ。outには、十九世紀以降の近代化(工業化や郊外化)に牽引され、年輪のように拡大していったアウトシティがある。

一九七〇年代中葉になると、そのICCに「問題」を付け、特に英国都市における経済的衰退、物的衰退、社会的不利益の集積を意味するようになり、解決のための都市政策は、成長抑制から衰退防止・再生促進へと転換した。大阪市や神戸市でも工業化による都市化の影響が大きかったため、ICC問題が注目された。

大阪市ではこの都市構造の年輪とICC問題は、大阪環状線沿線で可視化された。表はICCの核である都心部とその周辺のICC区の人口推移を示している。一九七〇年代の大量の人口流出から二〇〇〇年を底にして都心三区の急

激な人口回復とICC内環の人口増加が始まり、ICC外環では人口減少が止まらない区と人口増加を示す区に分かれた。大阪環状線の内環と外環で人口増減の二極化が進んだといえる。

一九八〇年前後のICC問題は大阪の衰退に焦点があった。表のように、当時の人口減少は絶対数も大きく区数も多い。ところが一九八〇年代後半のバブル期には人口減少のスピードが鈍り、ICCへのマンション進出で持ち直す兆しも見えたが、ICC問題に取り組む政策は具体化されず、華やかな湾岸開発の陰に隠れてしまった。一九九〇年代の湾岸開発もオリンピック誘致の失敗で赤字体質となり、湾岸のICC区からも離れていたため再生しなかった。また、二〇〇〇年あたりをピークに野宿生活者のブルーテントが市内の都市景観を席巻した。この露

都心3区、インナーシティIC内環4区、IC外環7区の過去5年毎人口増減(単位千人)

	2015-20	2010-15	2005-10	2000-05	1995-00	1990-95	1985-90	1980-85	1975-80
都心	13.3	10.0	8.4	6.5	-2.0	-3.8	3.3	1.5	-15.7
北中	14.4	11.9	8.4	2.5	-4.0	-5.5	-1.7	-6.8	-17.4
西成	9.4	10.5	4.7	4.7	-0.6	1.1	4.5	3.6	-17.4
都島	2.1	2.8	2.6	-0.8	1.8	4.3	8.3	-3.0	-10.5
福天	5.2	6.3	5.2	0.6	-1.1	-1.2	-2.6	-1.0	-10.9
浪速	5.9	5.6	5.3	3.2	-0.2	-0.1	0.7	-4.3	-6.5
都島	7.9	7.6	4.0	1.1	0.6	-0.6	-1.0	-5.6	-10.0
IC内環	1.1	1.8	-1.2	-3.5	-1.2	0.7	-4.4	-8.6	-3.8
此花	-2.9	1.8	-4.1	-2.3	-0.4	-2.1	-4.4	-9.4	-5.1
大東	-4.3	-3.7	-1.8	-3.3	-2.9	-1.1	-1.7	-4.4	-0.5
野田	0.4	1.3	0.3	-0.2	-2.6	-2.5	-5.2	-6.5	-14.9
成田	-3.8	-4.6	-4.2	-6.5	-6.1	-6.7	-11.7	-20.8	-21.7
阿倍	1.4	-1.0	3.4	1.2	-2.9	-6.8	-5.1	-11.5	-18.2
西成	-10.0	-10.8	-4.0	-5.0	-0.3	-2.1	-6.6	-18.9	-25.0
IC外環	-13.4	-2.9	-4.6	-1.8	0.4	14.1	15.7	-35.2	-34.3
天王寺10区	26.4	36.5	30.0	-3.6	-21.4	-12.4	-11.9	-130.8	-193.8
大阪24区									

外国人の若年層が大阪環状線沿線、特に閑空に近い南部から東部にかけての人口増加をもたらした。では、この二極化が生み出す光と影が大阪のICCの現在にどんな影響を与えるのか。それは次回以降で述べることにしたい。

ハンプティ・T

呈した生活困窮の解決策としての生活保護受給者の増加は、ICCでの居住を促進した。二十一世紀に入っても、民間経済の中枢機能の東京移行や第二次産業の雇用力の減退は未解決のまま橋下知事に託され、西成特区構想という特異な局地ICC対策が進められた。二〇一〇年代以降、別の潮流としてインバウンド客と外国人経営者や雇用者、留学生が激増し、ICCの遊休ハウジングを活性化した。ICCのネガティブな系譜による相対的に低廉な地価が有利に働き、

[安田拓也]今夏、楽器の発表会を終えた。素敵だったと言っても良かった。本当に良かった。ただステージでは明らかに格の違う存在に生まれ、目指したくなる。そう思える楽観性も必要な気がする。

[福井龍磨]金水敏「コレ日本語アルカ?」を読む。中国人が話す日本語、いわゆる「アルコ言葉」がどのように生まれたか、幕末まで遡って詳しく分析している。最近読んだ本では一番面白かった。



8月1日にGCC夏祭りを開催しました。たくさん練習した盆踊り、ダンス、太鼓演奏をみんなの前で披露しました。とても上手に出来ていたね!他にも色々なゲームをお父さんやお母さんと一緒に遊び、楽しい夏祭りとなりました♪

6月 2日 台風の日

台風対策

近年、台風に豪雨、大雪、そして地震など大型災害が多く、その被害に苦しむニュースが後を絶たない。関西でも平成30年9月の台風21号は記憶に新しい。屋根はブルーシートに包まれ、傾く家さえあった。今回は特にこの季節に多い台風被害への対策をお伝えしたい。

一つ目は飛散養生。建物や地面に固定されていない物置や看板、テント状のものは風を受けやすいので、固定状況を確認して、一時的に片づけるなどしてほしい。二つ目は飛来物からのガラス養生。先の21号では瓦が舞ったというから無視できない。三つ目は雨樋の掃除。詰りを取っておかないと、屋上に水が溜まってブルーシートになることがある。最悪の場合、屋内への漏水もあり得る。しかし何と言っても建物の健全な維持が大切。劣化した部位は、災害によって損傷が拡大しやすい。建物の劣化やその部位からの吹き込みは災害保険の適用範囲外になるから、業者への事前相談をお勧めする。

日本の気候の大きな変化が心配だが、改めて防災を見直す機会になれば幸い。(安田拓也)



台風21号で傾いた家

ハナレバナレになった人とまち。くらしの窓から紡ぐヒントを探してみる。

[西田吉志]9月9日は「みんな食堂」、9月16日は「長橋敬老の集い」、9月30日は西成地域の「合同慰霊祭」と、9月は毎週地域の人が顔を合わせる場がありますね。

葉っぱの吐見

といき

私は草木が大好きです。とくに観葉植物には心癒されます。私と葉っぱとお喋りを聞いてください。



「モンステラの葉っぱ」の巻

太陽をいっぱい浴びた。
穴から暖かさを感じた。
風をいっぱい浴びた。
穴からそよ風が流れた。
雨をいっぱい浴びた。
穴から冷たさが身にしみた。
声をいっぱい浴びた。
穴から元気がとび出した。
拍手をいっぱい浴びた。
穴から幸せが落ちちゃいそう。
視線をいっぱい浴びた。
穴から涙があふれ出た。
個性だらけのわたし。
自分らしいわたし。

赤井まゆみ

モンステラのこと

サトイモ科の属のひとつ。葉の形がおもしろく人気の植物。花言葉は「嬉しい便り」「壮大な計画」



い湯がげん

故人も子どもも繰り出した盆踊り大会

8月4日は西成区北西部(長橋、松之宮、北津守のこと)の盆踊り大会が催されて参加した。コロナのために中止や出店規制があったが、久しぶりの完全復活で大賑わいだった。松向寺通法実行委員長のご挨拶や裏方の寺本良弘さんたちのおもてなしに接して、お盆が先祖供養や親孝行の営みなんだと再認識する夜となった。

旧知の人やご遺族などと再会したが、松田喜一さんの娘の昌美さんともお会いした。御尊父は、部落解放運動は「賽の河原の石積み」といっしょで、ひとつ、ふたと積んでは崩されだんだん山も大きくなっていく、いつかは成し遂げられるんだから、そんなに改善さ

れることはない。三百年かかって作られたものは三百年かかる、そういう運動だ」と語られたそうです。昌美さんはいままで聴いてなかった結婚時の差別体験なども訥々と語ってくれて、やっぱり差別はなくなっていない、父の言った通りやねと返された。居合わせたボクの娘(脳性麻痺の障がい者)を初めて紹介したら、喜んでくれた。ボクは、『詳伝松田喜一』を読み返して、松田の「三百年の話」は実は深く、「新しい発見」もある言葉だと思えますよと語りかけたが、その後のボクの「解説」は河内音頭でかき消えてしまった。

富田一幸

人間のしあわせ、福祉のあり方、そして新しい社会の結びつきを求めて、これからも「いい湯かげん」のテーマ探しに出かけます。

幸平さんはマルクスを読み直し、次のような示唆を引き出した。20世紀、人間は自然に生かされてきたことを忘れて、地球や自然を支配できると勘違いし、それを後ろ盾する理論としてマルクスを読んだ(若き松田もそう読んで疑わなかったと思う)。しかし、大地(ドイツ語でエルデ)は誰のものでもない、個人や国家、さらにいま生きている人だけのものでもない。齊藤さんはこれを「コモン」と表した。20世紀の資本主義も社会主義も、他人や自然から「奪う」ことを正当化してきたが、コモンという共同価値を生むためには、自分や他者や自然の「ケア」が指標となる。

【山村裕太】Twitterのアプリを更新したら、アイコンがお馴染みの鳥ではなく「X」になっていました。最初何かわからなかった人がほとんどの気がします。昔にあったXというカラオケの機械を思い出しました。

【若松司】普段の会話や文章の多くはけっこう生成AIで作ったもので事足りるのかもしれない。それでも書くことに意味があるなら、それは自分を表現する方法の一つだからかもしれない。

8月4日の夕刻から西成区北西部地区まちづくり委員会主催の盆踊り大会が開催された。昨年はコロナ禍の情勢を考慮して出店はしないことにしたが、今年は4年ぶりに地域の福祉法人職員やゆ〜とあい関連のメンバーの出店ができて大いに盛り上がった。

私は本部席で来賓を迎えつつ、コロナ禍前の状況まで賑わいが戻ったことを実感した。これまでと少し違うのは、外国の方が少し目立ったこと。うちを笑顔で受け取る姿を見て、祭りは多くの人を幸せにするのだと感じた。

ゆ〜とあいのスタッフや鶴見橋中学校のブラスバンドのメンバー、太鼓を演奏してくれた皆さん、出店の協力をしてくれた皆様に改めて心からお礼を申し上げたい。

(寺本良弘)

皮算用 胸算用

にしなり隣保館の館長が日々の出来事について胸のうちに皮算用していることを語っていくよ。



地域の縁を心でつなぐ

松崎さん 心の時間

高校生からの質問「お焼香すると賢くなるのですか？」

確かに線香の煙を頭に浴びて「賢くなりますように」と祈る寺院もありますが、本来、お焼香とは「煙」ではなく「香」をお供えする作法です。四十九日を迎えるまでは渦巻き線香の「煙」が故人を極楽へ導くから絶やしてはいけないとも言われますが、根拠はありません。

衛生事情等が悪くて異臭や悪臭が現代よりも身近にあった時代、「香」は法要の場所を「神聖な場所」に作り上げる為の仕掛けだったのです。

ところで「長者の万灯より貧者の一灯」という故事はご存知でしょうか。二〇一八年九月四日、大阪に台風が直撃し、関空の連絡橋が破損、我が地域も停電、ローソクの灯りを頼りに過ごした不安な夜に、お釈迦様の時代、香と共に「灯」もまた大切なお供えだったことに思い至りました。

現代でも仏様に「香」と「灯」をお供えする原点はここにあるのではないのでしょうか。当たり前にしている作法にもこのような深い意味があったのです。

松向寺 通法

ココドコ

ここはどこ？
わたしはぜんぜん？
編集部が厳選した
「にしなり100景」
大公開！

真ん中に見えるのはナイター照明、その手前には観覧席と芝生。一番手前にフワッとボケて写っているのは金網です。どうやらスポーツができそうな雰囲気ですね。ココがドコだか答えを知りたい人は、ゆ〜とあいの受付までお問い合わせください！

【先月号の答え】 天下茶屋東1丁目1-5付近、西成区と阿倍野区の境目でした！上町台地の崖が区境になっている場所。階段を登った先が阿倍野区です。



2023年3月撮影

ゆ〜とあい

にしなり隣保館

にしなり隣保館「スマイル ゆ〜とあい」は、地域コミュニティ全体が抱える課題の解決をめざす民設民営の福祉施設です。日々悩んでおられる困りごとはありませんか？お悩み解決のためにできることをいっしょに探しましょう。

なび9月号(vol.199)

発行日:2023年9月1日(創刊日:2007年1月1日)

発行:株式会社ナイス

住所:大阪市西成区長橋 3-6-33

電話:06-6563-1150

E-mail:info@nice.ne.jp

url:https://www.nice.ne.jp/

編集長:若松司

編集:沖田一志、笹川勝正、田岡秀朋、西田吉志、西原夏美、福井龍磨、安田拓也、山村裕太(あいうえお順)

イラスト:hidarimaki デザイン:谷口円

(株)ナイス
ホームページ

